

農村振興局長賞

有限会社 ^{べにこまちさと} 紅小町の郷

～ 道の駅を中心とした地産地消、食農教育、都市農村交流の取組 ～

代表者： 齋藤 豊

構成員： 生産者202名、その他(団体)30名

所在地： 千葉県香取市

活動開始年月日： 平成14年8月

表彰理由

「見て、食べて、体験する」を基本理念に置き、道の駅くりもと「紅小町の郷」を中心として、貸し農園、体験農園、クラインガルテンを一体的に管理・運営。

地域農産物の生産販売の拡大や農家の所得向上により農業振興に貢献するほか、月1回開催されるイベントや、冬期を除き年間行われる農作業体験によりリピーターを確保し、都市と農村の交流、食農教育、地域農業への理解促進、高齢農家の活力向上に大きく貢献。

取組内容

1 直売所・農村レストラン等の取組

- 道の駅(直売所、レストラン)、貸し農園、体験農園、クラインガルテンを一体的に管理・運営。
- 「新鮮、安心、安全」をモットーに直売所を展開。市場仕入れは行わず地元中心の品揃えを貫き、農産物の売上げの8割は地元産。消費者ニーズに応えようと多品目の農産物の作付が進み、参加者も当初から80人増加。
- 病気に弱く栽培が難しいことから生産が減少していた「ベニコマチ」を、直売所でなければ買えないサツマイモとして定着させ、価格も主力品種の1.5倍で販売。
- 地域の農産物を、草もちや芋ようかんなどに加工し、付加価値をつけて販売する女性起業家や、特産のサツマイモを用いて干し芋や焼酎を製造する新たな法人・団体も出現。
- 直営レストランでは地元食材を使った地域性のあるメニューを提供。直売所において「食べたものが買える」ようにすることで、地場農産物の生産・消費の拡大に寄与。

2 都市と農村の交流拠点としての取組

- 足踏み脱穀機などの伝統農法体験、味噌づくり体験等のイベントを毎月開催するほか、体験農園では、いも掘り、落花生掘り、ブルーベリー摘みなど、様々な農作業体験が可能。
- ニジマス・アユ釣り、ザリガニ園、カブトムシ園、しいたけ園等を自ら整備し、老若を問わず、自然の中で丸一日楽しめるよう工夫。
- 貸し農園やクラインガルテンでは、地元高齢農家が農業指導を行い、地域農業への理解を促進。高齢農家の活力も向上。